

平成30年度第2回伊勢崎地域保健医療対策協議会
地域医療構想部会

次 第

日 時 平成31年2月18日(月) 18:30~20:40
場 所 伊勢崎保健福祉事務所 2階大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 地域医療構想の推進について

- ・各医療機関における「2025年に向けた対応方針」について 【資料1】
- ・本県における「定量的な基準(案)」について 【資料2】

(2) 伊勢崎保健医療圏におけるデータ分析について(DPCデータ等) 【資料3】

(3) 地域医療介護総合確保基金について 【資料4】

(4) 「医療法及び医師法の一部を改正する法律」について 【資料5】

(5) その他 【資料6】

- ・各地域の調整会議(前回)における意見と回答状況
- ・県保健医療計画に掲載されている医療機関一覧の更新

4 閉 会

地域保健医療対策協議会 地域医療構想部会出席者名簿

日時:平成31年2月18日(月)18:30~

【委員】

場所:伊勢崎保健福祉事務所 2階大会議室

	職名	氏名	備考
1	伊勢崎佐波医師会長	大澤 誠	
2	伊勢崎佐波医師会副会長	羽鳥 則夫	
3	美原診療所院長	美原 樹	
4	伊勢崎市民病院長	小林 幹男	
5	大島病院長	吉澤 正夫	
6	美原記念病院長	美原 盤	
7	伊勢崎福島病院長	草場 輝雄	
8	伊勢崎佐波医師会病院長	中川 隆雄	代理出席
9	群馬県立精神医療センター院長	赤田 卓志朗	
10	鶴谷病院長	鶴谷 英樹	
11	原病院長	原 淳子	
12	角田病院長	角田 祥之	欠席
13	石井病院長	新井 正明	
14	せせらぎ病院長	安村 幹央	欠席
15	古作クリニック院長	古作 望	
16	伊勢崎市健康推進部長	町田 浩也	
17	玉村町健康福祉課長	舩田 昌子	欠席

【地域医療構想アドバイザー】

	職名	氏名	備考
1	群馬大学医学部附属病院特命副病院長	村上 正巳	

平成30年度第2回伊勢崎地域保健医療対策協議会 地域医療構想部会 議事概要

- ◆日時：平成31年2月18日（月）
午後6時30分～8時40分
- ◆場所：伊勢崎保健福祉事務所

1 開 会 (18:30)

2 あいさつ（新保伊勢崎保健福祉事務所長）

3 議 事

(1) 地域医療構想の推進について

- ・各医療機関における「2025年に向けた対応方針」について

○資料1に基づき事務局から説明

○「2025年に向けた対応方針」について出席委員から概要説明

○意見、質疑の概要は次のとおり。

（委員）レスパイトケアの受入れを行っているということだが、病床はどこに分類されるか。

（委員）レスパイトケアでの受入れは、基本的に慢性期で行っている。また現在回復期の病棟の一部に地域包括ケア病床を導入している。回復期の需要はこれから更に増えてくるだろう。

（委員）将来に向けて医療提供体制に課題はあるか。

（委員）医師の確保は引き続き努力しなければならないが、常勤医師の負担を減らすため、非常勤の活用や他院との連携など、様々な対応を行っている。なお、三次救急医療機関に搬送するような緊急性の高い患者は少なく、急性期でなくても受け入れることができるような患者が多い状況である。現状としては十分に対応できていると考えている。

（委員）各病院は、サブアキュートが多かったがポストアキュートはどうか。本院としては地域でポストアキュートの受け皿が増えるとありがたい。

（委員）ポストアキュートの体制も整っている。

（委員）各病院が考えるポストアキュートの患者像を可視化できたり、共通認識が持てるとういのではないか。病院同士の連携をうまく機能させることが必要である。

- ・本県における「定量的な基準（案）」について

○資料2に基づき事務局から説明

○意見、質疑の概要は次のとおり。

（アドバイザー）大阪府は4つの項目を抽出したが、群馬県は大阪府の項目に加え、「病理組織標本作製」を加えた5項目で分類を行った。「病理組織標本作製」は、がんなどの内科系・外科系診療をカバーし、大阪府よりもきめ細かに分類することができる。分類結果はより一層肌感覚に合ったものであると考える。

（委員）「地域急性期」に該当する病棟を有する医療機関に病床機能報告の報告方法を指導するのか、それとも定量的な基準はあくまでも参考で、各医療機関の自主的な判断に任せるのか。

（事務局）各医療機関が医療機能を選択する際の判断材料に使ってもらうことを想定している。

(委員) 5項目に増やした理由は何か。

(事務局) 有床診療所にも目配せして、より細やかな基準となるよう考えた。

(2) 伊勢崎保健医療圏におけるデータ分析について

○資料3に基づき事務局から説明

○意見、質疑の概要は次のとおり。

(委員) 患者の流入流出について、流出していくところを充実させた方がいいのか、流入している方を充実させた方がいいのか、どう考えるか。

(委員) 大変難しい問題だが、自院が持っている機能をより生かすことを考えることが重要であり、このような資料を分析し、経営に生かしていくのがよいと思われる。

(委員) 伊勢崎圏域は、「急性期一般入院料4～7」を選択する病院が増えている。何らかの理由を持って4～7に持って行ったのであろうが、興味深い。

(事務局) ご指摘の内容については、今後分析を進めたい。

(3) 地域医療介護総合確保基金について

○資料4に基づき事務局から説明

○意見、質疑は特になし。

(4) 「医療法及び医師法の一部を改正する法律」について

○資料5に基づき事務局から説明

○意見、質疑の概要は次のとおり。

(委員) ぐんま地域医療会議で医師確保の議論が行われているが、3つの提案が示された。今回DPCデータなどが分析されたので、今後はデータに基づいた医師配置を期待する。

(アドバイザー) 何科のドクターが必要なのか等全病院に対してアンケートを実施した。今後も要望把握のためアンケート調査を実施していくとともに、データに基づいた医師配置に努めていきたい。

(5) その他

- ・各地域の調整会議（前回）における意見と回答状況
- ・県保健医療計画に掲載されている医療機関一覧の更新

○資料6に基づき事務局から報告

○意見、質疑は特になし。

4 閉 会 (20:40)